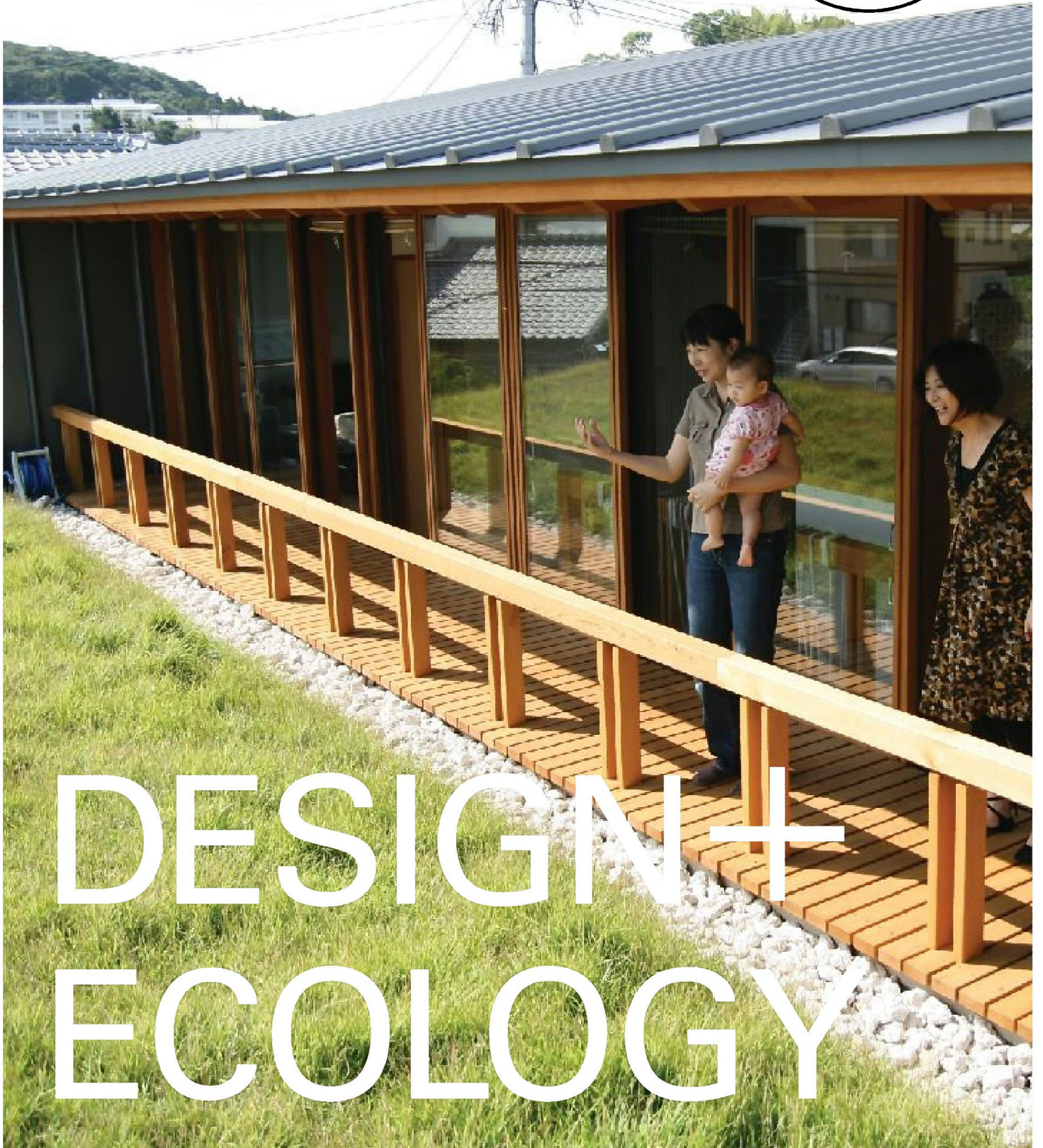


# 家山通信

UCHIYAMA TSUSHIN

屋上緑化の話をしよう。





色々なガーデンデザインをご提案しています。

# 家山のススメ

Uchiyama no SUSUME

著名なガーデンデザイナーと  
連携して、屋上緑化ガーデンの提案を行っています。

家は庭があって初めて生活の場となります。庭がなければ潤いが足りないようにどこかしら物寂しいのです。弊社では、屋上緑化を活用した色々な生活提案をしていこうと、プロのガーデンデザイナーと連携しています。「03」のデザイン提案書は、そのデザイナーによるスケッチと平面図です。このような絵に見積もり書を添付してご提案し、採用をいただきますと弊社の手で責任施工を行います。

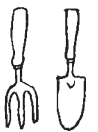
連携しているのは英国チェルシーフラワーショーで3年連続世界チャンピオンの座に輝いている石原和幸さんと九州を中心に活躍している秋吉克将さんです。写真のパーズは秋吉さんによるものですが、さすがに専門だけあって解りやすい提案になっています。最近ではようやく屋上緑化に対するご理解も広がってきており、単なる芝生を張っただけ



02

この日は秋吉さんから新しいガーデンデザインの提案がありました。

03 提案はパーズや平面図などを使って解りやすく行われます。



の庭ではなく、ウッドデッキや植栽をセンスよくレイアウトすることで、素敵な屋上緑化ガーデンを造らせていただく機会が増えてきました。石原さんや秋吉さんの出番もますます増えていくものと確信しています。屋上と言うとバーベキューのイメージが固定化しているかもしれませんが、ビオトープの視点から考えれば、小さな池や森を再現し、そこに魚や昆虫などを育てる場を造ることでお客様の感性を豊かに育むこともできるのではないのでしょうか。また、ハーブガーデンなどの家庭菜園を楽しむこともできます。

お施主様だけでなく、建築家や工務店の皆様にもご要望にそくして屋上緑化ガーデンのご提案を行いますのでどうぞお気軽に弊社までご相談ください。

▲▲ 家山の家ができました

# Uchiyama House Completion #01



建築家

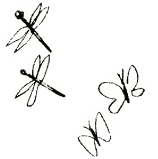
## 瀬野和広 × 栄住産業

瀬野和広さんが設計した木組みの家に、  
屋上緑化システムが採用されました。

今年の夏の酷暑は歴史的なものでした。全国各地で最高気温を更新。公園の噴水などで水遊びをする子供たちの映像が連日連夜ニュース番組で紹介されていたのが印象的でした。そんな暑い夏を前に、長崎県佐世保市に完成したのが建築家の瀬野和広さんが設計されたT様邸。若夫婦とその奥様のご両親、それに曾お祖母様が暮らす三世同居の家です。しかも若夫婦にはお子様が三人。実に合計八人が一つ屋根の下で生活を共にする大家族住宅の誕生でした。と、ご紹介しましたがこのT様邸の屋根は正確に言うと「一つ」ではなかったのです。

01. ワークスペースや子供室から望む草屋根。瑞々しい開放感があります。
02. 草屋根とデッキの境には軽石を置いてあります。その下には雨水を排水する溝があります。
03. 2階から土間リビングを見るとこんな感じです。
04. 生活の中心になっている土間とキッチン。ここに8人家族が集まります。
05. 屋根先に設けられた土留め。土の溜りを食いとめています。
06. 草屋根から長閑な気分を手を振る取材スタッフ。本当に気持ちのいい家でした。
07. 玄関の上まで草屋根が施工されています。
08. 子供室の上にロフトを設けてあります。
09. 木組みが映える階段室です。

▲ 長崎県佐世保市 T様邸

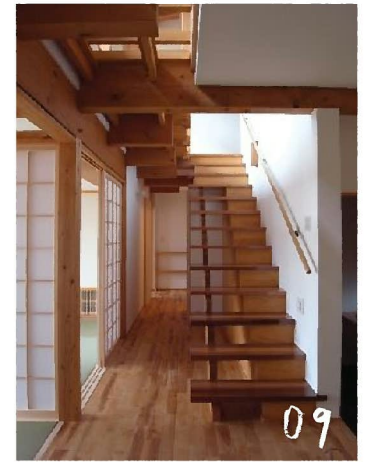


02

03

04

05



## Point! 木造住宅でも屋上緑化は可能!

瀬野和広さんは木組みの建築家として全国的に知られる建築家です。現場の知恵と伝統工法に学び、仕口や継手を駆使して金物に頼らない家づくりを推進しています。そのこだわりの建築家にどうしても設計を依頼したいと、佐世保〜東京という遠距離にも関わらず一念発起したT様ご夫妻。家づくりコーディネート会社のプロトハウス事務局に相談して瀬野さんとの面談を行い、その後設計が完了すると工務店選びを行い慎重に家づくりを進めていきました。この家づくりのポイントになったのが、屋上緑化でした。当初T様は「屋上緑化は鉄筋コンクリート造の家でしか実現できないから、木造では無理なんだ」と思われていたのですが、瀬野さんに相談すると「木造でもできますよ」という意外な返事が返ってきたのだそうです。「太陽光発電にするくらいなら屋上緑化にしたいと考えていました。設備はいずれ壊れるし、機械に頼るのはあまり好きじゃない

んです」とT様。こんな背景があって「二つの屋根」を持つT邸が完成したのです。

## 必要な所に屋上緑化。

T邸の設計は、若夫婦世帯が暮らす2階と、ご両親と曾お祖母様が暮らす1階から構成されます。高齢の世帯が暮らす1階には台所と居間、水廻りなどがありますが、玄関を開けるといきなり土間があり、そこに大きな木製テーブルがあるというデザイン。三世帯同居でどうしても広がりが必要な空間をコンパクトに抑えています。実はこの居間とご両親と曾お祖母様の寝室の部分は平屋になっていて、二つの屋根のうちの一つがその上にかかっています。そしてその部分こそがまさに屋上緑化されているのです。2階は若夫婦のエリアですが、

階段室のある中央にワークスペースを設け、その左右に子供室とご夫婦の寝室をレイアウト。寝室の奥にご主人の書斎を置いて外部階段を設け、ご主人が深夜に帰宅しても1階世帯に迷惑がつかないようにという配慮も設計には盛り込まれました。この2階部分全体を覆うのがT邸の第二の屋根です。その軒先に平屋部分の屋根が広がるのですが、それがまさに2階の子供室とワークスペースと寝室の窓から見渡せる屋上緑化した草屋根。この住宅の「心地いい」を実現している最大のポイントです。

## 草屋根の風。

T邸の屋上緑化は、外に見せるのではなく、住まい手側から見渡せるのが大きな特色になっています。屋根の勾配が庭側ではなく、部屋側に向けて降りているので、2階の各室からは芝生を張った草屋根部分がまるで草原でも望むように

見えています。「2階に吹き込む風がとでもさわやかです。1階とはまるで温度が違うんですね。断熱効果があるからでしょうか」とT様。草原のように見えて心地よさも格別な草屋根部分ですが、デッキからそのまま繋がっているのが、子供たちが勝手にそこに登らないのか心配もあったようです。「最初はなかったのですが、デッキと屋根を明確に分けるために手すりを設けてもらいました。木の手すりなので自然な感じで気に入っています」手すりに腰掛けてお子様をあやすT様は、幸福に満ちた笑顔で深く頷かれました。手すりを越えて草屋根部分を歩くと、足下からは土を踏みフワフワとした感触が伝わってきて、自分が屋根の上に居ることを忘れてしまい、まるで山の上に立っているような錯覚に見舞われます。これこそが家山(うちやま)!の感覚なのだと思えた瞬間です。夏の間は大いに茂った芝生はその穂先に新芽を立て、秋風に揺れています。今年の酷暑でも1階にお住まいのご両親や曾お祖母様に木陰のような涼しい空間を提供した草屋根がそこに在りました。

## Architect message 「建築家の思い」

### 草間暮(くさまくら)の夢

—— 屋根緑化を暮らしの間取りに。

空に草むらを敷いたらいいなあ。家の断面半分は下屋となり、2階からの恰好の空庭になります。この空庭一杯、野芝を生やしました。つまり空庭は家族みんなのもうひとつのリビングであり縁側です。草むら空庭は、窓先の町や山並みをパノラミックに見せる前景として、見事に調和しました。そこはもう2階で屋根の上というよりは、正にもうひとつの大地が敷かれていたという自然観にほっとさせられる場所になりました。草むらは空に向けて緩やかな土手になっています。その土手のスカイラインに、町並みとそ

の向うの山並みを重ね合わせた風景を見せたかったのです。更に、土手を滑り降りてくる夏の風がほしいと思いました。風は町の営みや季節の移ろいをもたらし、涼やかに家の中を舞ってくれるでしょう。また、草むら空庭の断熱性は抜群です。この夏の酷暑もエアコンなしでしのぎました。屋根緑化は、断熱設備から庭と縁側の風景づくりまで、環境建築づくりの標準仕様にしていきたいと思います。



瀬野和広  
瀬野和広+設計アトリエ

# FUTURE LOOFへの こだわり



01 CCソイル



02 ビバソイル



03

アーバンライツ  
ウエスト

草屋根は土が命！  
用途に応じ、  
3種類の土をご用意しています。

草屋根を造るには、まず弊社の金属屋根スカイプロムナード施工した上に防根シートと保水シートを敷き、その上に土を工する必要があるのですが、弊社ではこの土に3種類の軽量土壌を標準採用しています。木造住宅に施工するには一般的な土では重すぎるので、軽量土壌を使用する必要があります。弊社の草屋根は、植物が生き生きと生育する環境を生み出すのでビオトープ屋根「FUTURE LOOF」と名付けています。草屋根というものが広く一般的な未来の屋根になってくれたらいいあという願いを込めているのですが、時代は確実にその方向動いているのではないのでしょうか。

軽量土壌は何種類もあって、建築家の中には数種類の土をブレンドして使っているという方もいらっしゃいます。土にもそれぞれ特色があり、含まれる栄養分やその量も多岐に渡るので造ろうと考えているビオトープにふさわしい土を選ぶのが理的だと思います。

弊社が採用している土の一つCCソイルは、そのベースとして杉や檜の間伐材を利用しています。間伐材から取れる樹皮と炭にパーライト（鉱物）を加えて土状に粉砕しているのです。容易に想像できるように、樹皮も木炭も非常に軽いのが特色です。微量元素が含まれていますが、特別に飼料成分を加えてはおらずPHは7.3。水分は41.3%程度です。分析の結果、保肥性にも優れていることが解りました。育てたい植物に適した飼料を施し

いただくと、その飼料を保持する働きがあります。ビバソイルという土も使用しています。ビバソイルのVIVAは「生きとした」という意味。湿性多孔質鉱物に有機成分を含め植物の生育に必要な成分がミックスされています。つまり自然に近い土壌ということです。重さも一般の土壌の約1/2。湿潤状態で搬入されしかも礫状のため施工時に飛散の心配がないのも特色です。また雑草の種子も含まないため雑草がえにくいのも嬉しいところです。

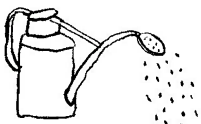
リサイクル軽量骨材を原料としたアーバンライツウエストという土もご用意しています。PHは6.5から7.0で、有機質肥料と量骨材を混合しています。こちらの土も雑草防止、蒸散抑制、飛散防止の効果があります。自然な色合いなので植物のグリーンを一層際立たせます。

ベースとしてこれらの土を施工しておき、その上で、そのビオトープの育成に適した飼料などを適時散布すれば、バランスよく屋上緑化を実現できるものと考えられます。



夏の酷暑下、  
水やりを忘れて一旦は枯れた  
草屋根の見本だったが、  
自然の雨で再び芝生が生えてきた

樹皮色で雨に濡れると  
しっとりとなり結合力も  
アップするよう見える



# INFORMATION

## 新商品 マグネットが使える「お絵描きボード」



子供室にぴったりの「お絵描きボード」を発売中です。これはホワイトボードを壁面に使用できるようにしたものです。子供室の壁一面に「お絵描きボード」を施工すれば、その壁面は自由に落書きができる大きなキャンパスになります。ホワイトボードなので、書いて、消して、繰り返して使え、しかもマグネットが使えるので写真などを貼ることも簡単です。（「杉田さんの家」設計/瀬野和広）

## NEWS ワンポイントニュース

スカイプロムナードは低勾配屋根。わずか2%の勾配でOKです。他の金属屋根工法では5~6%が基本ですから、8mの屋根と比較すると最大320mm程度の勾配差が解消できます。

## NEWS モデルハウスがオープン中

北九州市環境局「北九州エコハウス」に弊社の屋上緑化が施工されています。約40m<sup>2</sup>の天然芝生の上を歩いて、ぜひご体感されて下さい。北九州市のモデルハウスですから自由に見学できます。  
※月曜定休日



## NEWS 日本住宅新聞で紹介されました

- 日本住宅新聞に屋上緑化住宅ビジネスの最先端として紹介されました。（受注を倍増した工務店実例などが案内されています）
- 建築知識7月号の環境特集で弊社の屋上緑化が紹介されました。



## NEWS NPO法人「日本金属防水工業会」に加入

NPO法人「日本金属防水工業会」に加入しました。対象のスカイプロムナード防水工事を「日本金属防水工業会」に登録すると、1棟最大10億円までの保証が付きます。登録費や保証料は不要で指定の「保証住宅申請書」に記入するだけ。万が一の時に住宅瑕疵担保保険法人の保険を使わなくて済むので保険法人の保証料が上がりません。

## 屋上緑化相談受付中です



「家山プロジェクト」を推進している栄住産業では、ただ今屋上緑化に関するご相談にお応えしています。どのようなご相談ご質問でも構いませんので、お気軽にお電話またはメールしていただきますようお願い申し上げます。ご連絡は最寄りの営業所をお願い致します。

## ● お問い合わせ

<http://www.eijyu.co.jp>

[本社]	〒812-0063 福岡県福岡市東区原田3丁目5-6 TEL 092-622-6292 FAX 092-611-9697
[関東支店]	〒182-0024 東京都調布市布田2丁目4-6 アムールビル1F TEL 042-442-4785
[神奈川営業所]	〒254-0012 神奈川県平塚市大神2085-4 TEL 0463-51-4404
[埼玉営業所]	〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎2丁目675-2 TEL 048-948-0377
[東北営業所]	〒984-0012 宮城県仙台市若林区六丁目の目中町8-1 TEL 022-390-7385
[関西支店]	〒579-8063 大阪府東大阪市横小路町5丁目10-33 TEL 072-985-9600
[中部営業所]	〒491-0074 愛知県一宮市東島町3丁目29-1 TEL 0586-28-7775
[姫路営業所]	〒672-8021 兵庫県姫路市白浜町宇佐崎中1丁目25 TEL 079-247-2550
[広島営業所]	〒731-3161 広島県広島市安佐南区沼田大字伴2217-1 TEL 082-848-4615
[福岡営業所]	〒812-0063 福岡県福岡市東区原田3丁目5-6 TEL 092-622-6292
[北九州営業所]	〒800-0206 福岡県北九州市小倉南区葛原東5丁目2-16 TEL 093-475-0966
[大分営業所]	〒870-0156 大分県大分市高城新町14-16 高城ルネスビル1F TEL 097-503-1902
[熊本営業所]	〒861-3203 熊本県上益城郡御船町高木4760-1 TEL 096-282-4650
[長崎営業所]	〒851-2101 長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1000-168 (第7工区) TEL 095-881-0956
[鹿児島営業所]	〒892-0871 鹿児島県鹿児島市吉野町4584-1 TEL 099-295-7080